

高等学校【国語】正解・解答例

問一 A 不名誉 B 勤務時間 C 任命権者

問二 ウ

③

問四 (一)ア 社会生活 イ 伝え合う ウ 想像力 エ 言語文化
(二)ア

配点…各2点×10

20点

二 問一 (一)治療 (二)拘束 (三)寡黙 (四)とうや (五)ていかん

問二 ①カ ②ウ ③エ
A 和漢混交文 B 無常

配点…各2点×10

20点

三 問一 オ

問二 円環時間の同一物の反復というイメージが、原状に復帰する点において、伝統主義の常に同一のままに保存、維持するという価値規範を表象していたから。

問三 時間とは永遠に同じものとして繰り返される神聖なものであるため、有限なる人間の商人が時間を利用して利潤を生むことは許しがたい神への冒瀆である

問四 イ もろもろの危険を先取りし、商品価格や貸付の利潤を計算する

問五 エ

問六 ア 不確定だが、先取りする意識を通して計算することが可能なもの。

問七 配点…問一・問四〇七 各4点×5、問二 8点、問三 10点、問八 7点

45点

四 問一 イ

問二 螢の大群という希少な光景に遭遇できるか否かに、息子とともに富山を離れ大阪へ移るかどうかの大きな決断を委ねようと覚悟を決めたことで、緊張感が高まったから。

問三 ウ

問四 螢の大群に遭遇できるという自分の勘が当たったことへの自負を感じるとともに、想像以上に鮮烈な光景に圧倒されている。

問五 ウ

問六 イ

配点…問一・三・五 各4点×3、問二・四 各9点×2、問六 5点

35点

五

問一 ㊦ うち ㊩ あじろ

問二 「石上」が「古り」を導く枕詞である通りの状態だったから。

問三 ② オ↓イ ③ イ↓オ

問四 ④ どうして参上せずにはいられようか、いやいられない。

⑧ 噂にだけ聞いてきた

問五 御堂の方よりやうにする

副詞 動詞 助動詞（打消） 接続助詞

問六 え／とまら／ね／ば

問七 怪しげな家で息を殺して寝ずに夜を明かさなければならず、情けなさで恐ろしさで一晩を非常に長く感じている。

問八 Aでは宮中での立場に自信も執着もなくよそ者のような感覚をもっているが、本文では宮仕えをするよう夢で告げられ喜ぶほどに肯定的に捉えている。

配点…問一・三 各2点×4、問二・六 各4点×2、問四 各5点×2、

問五 3点、問七・八 各8点×2

45点

六

問一 a ただ b ここをもつて c つくる

問二 そのひとつくにあるか。

問三 エ

問四 私は私の子に教えることはできません。

問五 輪をけずる際の絶妙な加減。

問六 本質は言葉に表すことができるものではなく、聖人の書に書かれている内容はうわべだけの価値のないものにすぎないと考えるから。

配点…問一 各2点×3、問二・四 各5点×2、問三 4点、問五 7点、

問六 8点

35点